

組合だより

JA

お・か・ん・く

第53回 農林水産祭参加表彰行事

第53回 全国酪農青年女性酪農発表大会



令和8年8月12日発行
発行：お・か・ん・く事務局
責任者：小野 孝志
発行所：JA岡山県本部
〒760-0801 岡山県岡山市東区
電話：086(262)1101



長恒泰裕さん 全国発表大会で優勝

7月9日～10日、「第53回全国酪農青年女性酪農発表大会」がロワジールホテル那覇において開催されました。

西日本酪農青年女性会議の代表として蒜山地区の長恒泰裕さんが発表され、経営発表の部で最優秀賞を受賞し、見事全国優勝を果たされました。

各発表者がそれぞれの理念を掲げ、儲かる酪農と持続可能な経営の実現に向けて、最新技術の導入や自給飼料の強化、地域との連携など、

多角的な経営改善に取り組み姿が印象的でした。その中でも長恒さんの発表は完成度が非常に高く、日頃からの安定した経営や実践の積み重ねが随所に反映されており、他の発表を一歩リードしていると高く評価されました。

審査講評では、①個体管理と作業の省力化を両立することで、労働効率の向上と乳質・乳量の大幅な改善を実現している。②休耕田の活用やバイオマス発電への取り組みが、循環型酪農の模範となる優れた事例である。③性別や経験を問わず誰でも作業できるシステムを構築しており、労働効率の向上だけでなくリスクマネジメントの面でも優れていることの3点が特に高く評価されました。



最優秀賞に輝いた長恒さん

今回の発表大会は台風の影響を受ける厳しい天候となりましたが、そのような状況にもかかわらず、遠方

から多くの方々が会場へ駆けつけ、温かい声援を送ってくださいました。この力強い応援は発表者にとって大きな励みとなり、最優秀賞という栄誉ある結果につながったものと確信しています。

最後に、この場をお借りして、本発表大会の出場に際し、ご支援いただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

(生産支援課)



発表者の皆さん





岡山県酪農政治連盟 第25回通常総会開催

7月8日、岡山県酪農政治連盟(委員長 三宅穰次)は、「第25回通常総会」をおかやま酪農協本所3階大ホールにおいて開催しました。総会には代議員制度による会員46名が出席し、「改正畜安法の見直し」「生乳の需給緩和防止へ」、県内の牛乳・乳製品の消費拡大に向け「高等学校生徒等に牛乳を供給する仕組みの構

築」に引き続き取り組んでいくことなどを決めました。

開会にあたり三宅委員長は「要請活動の成果として、県から重点支援交付金の一部で配合飼料の補給金が入った。現在の要請活動としては改正畜安法の見直しを上げており、規制改革会議・政治連盟・酪政会との議論の場を設けることを推奨していく。一方で国の上振れた税収の一部を円安で苦勞している企業に還元してもらおう働きかけをしていく。また、少子化対策、健康寿命を延ばす観点を含め高校での給食提供、牛乳・地産地消の米・野菜を使っていただくということを働きかけていきたい。この改正畜安法の見直しと高校での給食提供を二本柱として要請活動を行っていく」と挨拶しました。

三宅委員長の挨拶



「ご来賓の方々より、次のようなご挨拶をいただきました。」

《日本酪農政治連盟

南部顯弘幹事長》

国への要請活動を一層強化しながら施策実現に全力で

取り組んでいく。関係機関との強い連携のもと、尽力していただきたい。

《岡山県農業協同組合中央会

久山直樹参事》

農政連盟と酪政連が連携を図りながら、政府与党・県議会・市町村の議会の先生方に働きかけを行っていく。

《中国生乳販連

植野光雄代表理事常務》

乳価値上げ実現に向け、酪政連の活動や東日本・北海道の生産者との横の連携をつないでいきつつ対応を考えていく。全国的な動きになるように協力していただきたい。

《おかやま酪農業協同組合

檜尾康知代表理事組合長》

需要期増産、不需要期抑制という循環を作り上げていくために何らかの形で関わっていく。

また、国会議員秘書の皆様・おかやま酪農の役員の方々にもご来賓として出席をいただきました。

その後、議長に備北支部の小倉清志さんを選出し、令和7年度の運動報告と収支決算、令和8年度の運動方針と収支予算案、会費賦課徴収の件、役員手当支給に関する件、任期

満了に伴う役員改選の件、中央委員選任の件について慎重審議され、全ての議案は可決されました。

なお、役員改選は、新委員長に備北支部 三宅穰次さん、副委員長に備前支部 松崎範之さん、備南支部 東山大介さん、津山支部 永禮淳一さんが選出されました。

また、中央委員は三宅新委員長が選出されました。

議事終了後、大会スローガンの採択では、備北支部 上森 亨さんにお願いし力強くスローガンを唱和しました。

《スローガン》

- ・改正畜安法の見直しを勝ち取ろう
- ・飼料価格安定制度の拡充を図ろう
- ・牛乳・乳製品の消費拡大と酪農理解醸成を図ろう
- ・国産飼料の生産・利用を拡大しよう
- ・食を守れない国に未来はない。国土保全に必要な酪農を守ろう
- ・食料安全保障の確保に向け農林水産関係予算の拡充を図ろう
- ・家畜防疫・有害鳥獣対策を強化しよう

今後、会員皆様の貴重な意見、要望を頂きながら国、県に要請活動を展開してまいります。ご指導、ご協力をお願いします。

(岡山県酪農政治連盟事務局)

小野田紀美内閣府特命担当大臣へ

要請活動

7月2日、県酪農政治連盟は三宅委員長、東山副委員長、松崎委員、永禮委員、安富おからく女性部委員長、事務局の6名が小野田大臣に面会し、要請活動を行いました。

三宅委員長が小野田大臣に要請書

を手渡し、内容を説明しました。

特に牛乳乳製品の消費拡大施策として高等学校生への牛乳の飲用習慣の普及・定着を図りたいこと、また物価高騰、家計の負担軽減のために、高等学校への給食提供を実現したいので、ご協力

いただけるよう要請を行いました。

小野田大臣は酪農情勢を十分理解されており、国民の安全を守るためにも食料安全保障は不可欠であり、食料自給率を上げるためにも酪農・農業政策は重要との考えを示していただきました。

小野田大臣へ要請書を手交

県酪農政治連盟では、今後とも国、県等への要請活動を通じ、酪農窮状を訴え酪農経営の改善に取り組んでまいります。
(県酪政連事務局)



第16回全日本ホルスタイン共進会

岡山県出品対策協議会解散総会並びに

第17回全日本ホルスタイン共進会

岡山県出品対策協議会設立総会開催

7月22日、「第16回全日本ホルスタイン共進会岡山県出品対策協議会解散総会（以下、第16回全岡山県出品対策協議会解散総会）並びに第17回全日本ホルスタイン共進会岡山県出品対策協議会設立総会（以下、

第17回全岡山県出品対策協議会設立総会）（会長 檜尾康知）」が岡山市北区のピュアリティまきびにおいて開催されました。

全役員21名のうち、出席者17名、委任状1名で行われました。また、顧問である全国農業協同組合連合会岡山県本部県本部長 川崎敦史様、岡山県農業共済組合組合長理事 石井 博様にもご臨席いただきました。

まずは令和7年度事業についての説明があり、その後第16回全岡山県出品対策協議会の解散について協議されました。解散が承認されたのち、続いて第17回全岡山県出品対策協議会の設立について諮られ、承認されました。

次回の全日本ホルスタイン共進会の開催は令和12年になります。まだ開催地が決定されていませんが、岡山県をはじめ、関係機関等からの協力を得ながら4年後の開催に向けて準備を進めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

(生産支援課)



総会で挨拶される檜尾会長

夏場の乳牛を暑さから守るために ～「熱を入れない」暑熱対策 遮断熱シート導入事例～

全国酪農業協同組合連合会 中四国事務所 池部 昌則

はじめに

近年、「今年も暑い夏だった」という言葉を毎年のように耳にするようになりました。猛暑日が続くことも珍しくなくなり、酪農経営において暑熱対策は欠かせないものとなっています。

乳牛は暑さに弱く、高温多湿の環境では体温を下げようと呼吸数が増加し、多くのエネルギーを消費します。採食量の低下から乳量、乳成分の低下だけではなく、受胎率の低下や発情兆候が弱くなるなど、繁殖成績にも影響を及ぼします。暑熱ストレスを軽減することは、夏場だけでなく、その後の生産性を維持するためにも重要な取り組みです。

暑熱対策というと送風機やミストなどを思い浮かべる方が多いと思いますが、それと同じくらい重要なのが「牛舎へ熱を入れない」という考え方です。

今回は、牛舎屋根へ遮断熱シートを施工した事例をご紹介します。

屋根から伝わる「輻射熱」に注目

真夏の屋根は、強い日差しによって非常に高温になります。暑くなった屋根で熱せられた熱は、牛舎内へ放射され、牛は頭上から常に熱を受けています。この熱を「輻射熱」と呼びます。この輻射熱は、牛舎内の暑さを感じる要因の一つです。送風機は空気を動かすことはできますが、屋根から伝わる熱そのものは防ぐことはできません。そこで注目されているのが、屋根からの熱の侵入を抑える遮断熱シートです。

遮断熱シートは、アルミ層で輻射熱を反射し、牛舎内への熱の侵入を抑えることで、牛舎内の温度上昇を軽減します。

また、既存の牛舎にも大規模な改修工事を行うことなく導入できることも特徴です。

導入事例

今回ご紹介する牧場では、乾乳牛舎へ遮断熱シートを施工しました。これまで屋根には特別な暑熱対策を行っておらず、毎年夏場には分娩後の事故や難産が課題となっていました。

乾乳牛舎の施工面積は約250㎡、遮断熱シートを屋根下へ施工し、施工前後の屋根裏温度を比較しました。

屋根裏温度は約14℃低下

施工前に測定した屋根裏温度は37.3℃でした。一方、遮断熱シート施工後は23.5℃となり、約14℃の温度低下する結果となりました。※5月時点での屋根裏温度を測定

施工中から「屋根から伝わる温度が和らいだ」と感じられるほどで、設置途中の段階から屋根から侵入する熱を抑える効果を実感することができました。

屋根から侵入する熱が軽減されることで、屋根裏で暖められた空気の原因も抑えられます。その結果、送風機によって牛舎内を循環する空気の上昇が和らぎ、牛舎全体の暑熱環境の改善につながることを期待できます。



写真1 施工前の屋根裏温度



写真2 施工後の屋根裏温度

施工はシンプル

施工の準備品として、遮断熱シート（縦1.2m×横42m）×5個、ベニヤ板（1800mm×900mm）×8枚、木ネジ×400本、タッカー（針含）、カッター、メジャーを用意しました。

施工は、以下の流れで行いました。

- ①遮断熱シートとベニヤ板を必要な長さに裁断

②屋根裏へタッカーで仮止め

③ベニヤ板を木ネジで固定

遮断熱シートはカッターで簡単に切ることができます。既存の牛舎を活用しながら施工できるため、大掛かりな改築を行うことなく導入できます。

施工は比較的シンプルですが、屋根下での高所作業となるので、安全帯や足場などの安全対策を十分に講じて安全を最優先に作業を行ってください。



写真3 施工前の屋根裏のようす



写真4 遮断熱シートを裁断



写真5 ベニヤを裁断



写真6 遮断熱シートをタッカーで仮止め

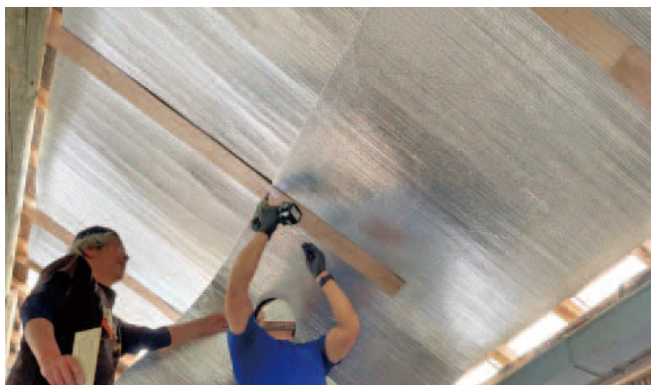


写真7 ベニヤ板で木ねじを止める



写真8 施工後の屋根裏のようす

最後に

「風を送る」「水で冷やす」だけではなく、「牛舎へ熱をいれない」という考え方を取り入れることで、送風機やミストとの相乗効果も期待できます。屋根から侵入する熱を抑えることは、牛舎環境の改善につながり、乳牛の暑熱ストレス軽減や生産性の維持に役立ちます。

暑さが年々厳しくなる今だからこそ、自分の牧場に合った暑熱対策を見直し、牛にも人にも快適な牛舎環境作りを進めてみてはいかがでしょうか。今回の事例が、これから暑熱対策を検討される際の参考になれば幸いです。

「暑熱対策で牛の健康と経営を守ること」を合言葉に、今年も全酪連としてサマーリリーフに取り組みます。ご不明な点がございましたら、お近くの全酪連担当者までお問合せください。



💀カビ毒とはなんぞや？💀

「カビ毒」とは、パンにはえてしまう青カビや風呂場の黒カビのように目に見えるカビとは異なり、圃場で育つトウモロコシや大豆などの飼料原料中に発生するカビや飼料の保管中に発生するカビ、飼養環境で発生するカビ等が雨や熱波、その他環境要因などから受けるストレスにより産生する有毒物質で、家畜の健康や生産性、繁殖に悪影響をもたらします。

カビがあるからといってカビ毒があるとは限らず、カビが見えないからといってカビ毒がないとは限りません。

カビ毒は見えない脅威！この影響を取り除けば今以上の成績が望めるかも…

💀カビ毒とは、植物病原菌であるカビや貯蔵穀物等を汚染するカビが産生する化学物質のうち、健康に悪影響を及ぼすものをいう。カビ毒の事をマイコトキシン（mycotoxin）ということもある。

💀カビ毒は世界で600種類以上が存在、日本の畜産現場で多く汚染が確認されているのは、“デオキシニバレノール（DON）”“ゼアラレノン（ZEN）”“アフラトキシン（Afla）”“フモニシン（FUM）”“オクラトキシン（OTA）”“T2/HT-2トキシン”等…

💀カビ毒は1種類だけに汚染されることは少なく、通常は何種類、場合によっては何十種類ものカビ毒に同時に汚染されてしまう。また、カビ毒の組合せによって、元々の毒性が何倍も強力になる「相乗効果」が存在する。特に国内では、ZEN、FUMなどのフザリウム属由来のカビ毒の複合汚染には注意が必要。

急性の主な症状

- ・元気消失
- ・下痢（血様など）
- ・腫れ（肛門、陰部、目）
- ・起立不能（食欲廃絶からの低Ca症に起因）
- ・低体温（38.5℃以下）
- ・じんましん
- ・突然死

慢性の主な症状

- ・反芻は強いのに鼻全体から垂れ下がる透明な鼻水、よだれ
- ・不安定な採食量
- ・軟便・下痢
- ・免疫機能の低下
- ・繁殖性低下、早産や流産、リピーターブリーダー
- ・日ごとに乳量が変わる

カビ毒吸着剤には主に、鉱物系（ベントナイト・ゼオライトなど）と、酵母細胞系があり、またその両方が複合されている製品もある。一般的には鉱物系の方が酵母細胞系より1頭当りの推奨添加量が多い傾向にある。また、鉱物系の中にはビタミンやミネラル等も一緒に吸着してしまうものもある。

カビ毒吸着剤は、製品によって吸着できるカビ毒の種類が異なる。**自農場で使用しているカビ毒吸着剤が合っているかどうかは、使用している農場主の日頃の観察力と判断による。信頼できる試験データが揃っている製品を選択し、使用する吸着剤や給与量を把握すること。**

カビ毒吸着剤の使用上の留意点

- ★乾乳牛、高泌乳牛など抵抗力の弱い牛を優先する
- ★かびやカビ毒が多い場合は規定の範囲内で最大値を給与する
- ★信頼できる試験データがある製品を選択する
- ★増減する時は、特に状態を確認する

自農場で給与する飼料にどのようなカビ毒が存在するのか、あるいはそのカビ毒にどの吸着剤が適しているのか、適正な給与量となっているか等、分析することが結果的に農場の収益性向上につながる。

おからくでは、カビ毒の種類を検出するだけでなく、濃度や危険度などをデータ化し、レポートとして見える化して提供します。

さらに、分析データを基に牧場ごとの要望に合わせ、添加剤の種類、容量、季節別変更、頭数ごとの変更が可能な効率的・合理的かつ低コストな総合混合添加剤飼料「オリジナルプレミックス」を農場ごとに製品化いたします。

ぜひ、最寄りの事務所担当者までご相談ください。

（事業本部）





カビ毒クイックガイド

—カビ毒が牛の健康とパフォーマンスにもたらす影響とその症状



症状	アフラトキシン	オクラトキシン	タイプB トリコテセン	タイプA トリコテセン	ゼアラレノン	フモニシン	その他 ペニシリウム類	その他 アスペルギルス類	変角 アルカロイド	フザリウム酸
流産					✓				✓	
急性肝炎	✓									
貧血症	✓									
食欲不振	✓		✓	✓					✓	
血性下痢				✓				✓		
痙攣・ひきつけ								✓	✓	
脱水症状		✓								
性成熟の遅れ					✓					
沈鬱			✓	✓						✓
下痢・軟便			✓	✓			✓			
消化不良	✓		✓	✓		✓	✓			
乳房水腫					✓					✓
乳頭・乳房・乳腺の肥大					✓					✓
包皮肥大					✓					
餌の拒絶	✓		✓	✓			✓			✓
ウイバーチン音発出					✓					
体温調節障害									✓	
体細胞数増加	✓		✓	✓		✓		✓		
死亡率上昇		✓								
不妊			✓		✓				✓	
内臓出血	✓	✓	✓	✓		✓				
発情サイクルの乱れ					✓					
ケトosis									✓	
は行	✓		✓	✓		✓			✓	✓
活力減退		✓	✓	✓		✓				✓
肝臓損傷	✓	✓	✓	✓		✓		✓		
胚・胎児の奇形			✓	✓	✓				✓	
乳の汚染	✓				✓		✓			
抗酸化状態の低下	✓		✓	✓			✓			
腫脱・脱腸					✓					
偽妊娠					✓					
泌乳量低下	✓		✓	✓		✓	✓		✓	
飼料効率低下	✓		✓	✓		✓			✓	✓
飼料摂取量減少	✓		✓	✓		✓			✓	✓
成長率低下	✓		✓	✓		✓			✓	✓
免疫力低下	✓	✓	✓	✓		✓		✓		✓
繁殖成績低下(雌牛とも)	✓		✓	✓	✓				✓	
精巣縮小、性本能低下					✓					
ルーメン機能の低下			✓	✓			✓			
皮膚病変			✓	✓	✓					
死産			✓		✓					
生殖器肥大(雄)					✓					✓
震え								✓	✓	
嘔吐			✓	✓						✓

* フザリウム酸の毒性は飼料がタイプBトリコテセン(DON等)と同時に存在する際に優位に高まります。

今後の乳牛受精卵供給体制・凍結卵情報について

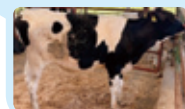
岡山県農林水産総合センター 畜産研究所

産子の
ようす

キルト×レツチワース
(現在2ヶ月齢)



リア×トウルーパー
(現在6.5ヶ月齢)



畜産研究所より、今後の受精卵供給についてのお知らせです。
これまで畜産研究所では、乳牛の性判別新鮮卵を中心に供給を行うため、優れた遺伝能力を持つ乳用牛からの採卵を実施してきました。しかしながら、近年では性選別精液が普及していることから、9月以降の乳牛受精卵供給については、受卵牛の発情に合わせて簡易に移植可能なダイレクト凍結卵の作製を主体とする体制に移行させていただきます。ダイレクト凍結卵の作製にあたっては、暑熱耐性に優れるスリック遺伝子保有牛や、無角遺伝子保有牛等、特色のある受精卵作製も計画しています。

受精卵の種別ごとの扱いは、表1のとおりです。ダイレクト凍結卵のリストについては、当所のホームページへ掲載しています。なお、更新は月1回程度を予定しています。

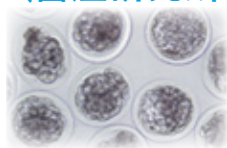
また、和牛受精卵リストについても当所のホームページに掲載予定ですので、併せてご覧ください。

体制の変更に伴いご迷惑をおかけしますが、今後も優良な受精卵の作製に努めて参りますので、引き続きよろしくお願いいたします。

表1 受精卵種別ごとの取り扱い

ダイレクト凍結卵	随時譲渡可能。 リストをHPに掲載中です。
クライオトップ卵	随時譲渡可能。(畜産研究所での融解が必要です) 受精卵の詳細は個別にお問い合わせください。 取扱個数をHPに掲載中です。
新鮮卵	所内採卵※に合えば、配布可能。(※ダイレクト凍結卵作製のための採卵) 採卵日は個別にお問い合わせください。 ♀判別卵は、原則クライオトップ卵での対応とさせていただきます。

乳牛受精卵情報 (畜産研究所HP) はこちら！



ダイレクト凍結卵案内 (優良牛、性選別精液使用)

R 8 年 7 月 末 時 点

採卵牛	総合指数 (2026年2月)	順位 (上位%)	種雄牛	TPI	NTP	個数
ウルル 1390973202 	3267	1 %	エンパワー (♀) 629H20939	3080	-	6
			トウルーパー (♀) 614H15179	3277	3662	2
キヤスト 1354972036 	2928	4 %	デデイケート (♀) 551H3590	2991	2756	3
キルト 1354871971 	2915	5 %	レツチワース (♀) 550H16110	3155	3048	4
リア 1390973165 	2908	5 %	トウルーパー (♀) 614H15179	3277	3662	4

受精卵、産子情報等の詳細は、畜産研究所 繁殖衛生研究グループまでお問い合わせください。

☎0867-27-3349 (飼養技術研究室) ☎0867-27-3627 (受精卵処理室直通)

おかやまホルスタイン改良同志会 令和8年度通常総会開催

7月17日、「おかやまホルスタイン改良同志会（会長 山本真五）令和8年度通常総会」が岡山市北区建部町のたけべ八幡温泉において開催されました。

参加会員数11名（会員数56名）、来賓に岡山県より畜産課の岡田英樹総括参事・大坂文美恵技師、（一社）家畜改良事業団岡山事業所より栗田篤所長・田村真弥技師、そしておからくより檜尾康知組合長をお招きし

執り行われました。

議長に備南地区ホルスタイン改良同志会の東山大介さんを選出し、書記はおからく生産支援課の井元銀河さんが務めました。すべての議事について、慎重審議され、可決いたしました。

現在の酪農を取り巻く厳しい状況であり、また本同志会としても予算が限られている中ではありますが、創意工夫を重ねながら活動に取り組み、皆様方の支援なくしては、成り立ちません。引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。最後になりましたが、本総会において新役員が選出されています。任期は2年となりますので、皆様今後ともよろしくお願いいたします。

新役員

会長 山本 真五さん
（備南地区ホルスタイン

改良同志会）

副会長 吉原 直樹さん
（津山ホルスタイン改良同志会）

副会長 長恒 泰裕さん
（蒜山ホルスタイン改良同志会）

監事 上森 亨さん
（びほく乳牛改良同志会）

（びほく乳牛改良同志会）



総会風景

監事 吉本 卓弘さん
（備南地区ホルスタイン

改良同志会）

理事 松崎 範之さん
（備前ホルスタイン改良同志会）

理事 東山 大介さん
（備南地区ホルスタイン

改良同志会）

理事 長綱 雄一さん
（蒜山ホルスタイン改良同志会）

理事 岡山県立高松農業高等学校
（備前ホルスタイン改良同志会）

（生産支援課）

おかやま酪農ヘルパー利用組合

総会開催

7月21日、「おかやま酪農ヘルパー利用組合総会」が開催されました。

協議事項につきましては、慎重な審議のうえ、すべて原案通り可決されました。また、ヘルパー利用組合規約のうち、「第5条 組合員の責務」の改正および「第14条 脱退勧告」の新設について、協議・承認されました。

今後もヘルパー制度の充実と強化に努めてまいりますのでご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

役員改選

組合長 藤本 実さん
（西大寺地区）

副組合長 朝倉正治さん（備南地区）
廣金良昭さん（びほく地区）

監事 宮野晃好さん（津山地区）
美甘正平さん（蒜山地区）

（生産支援課）



総会のようにす

岡山県酪農酪政連備北支部・びほく酪農組合定期総会を開催

7月15日、「岡山県酪農政治連盟 備北支部・びほく酪農組合」の第24回定期総会が高粱市落合町のモランボンにおいて開催されました。

組合員12名(15名中)が出席され、また来賓の皆様にも18名の出席をいただきました。

酪政連備北支部の総会には三宅支部長の挨拶で開会し、衆議院議員 加藤勝信様の秘書 坂本様からご祝辞をいただきました。

議事においては第1号議案から第4号議案まで原案通り承認されました。

引き続き、びほく酪農組合総会では、鍋島組合長の挨拶で開会し、高粱市産業経済部農林課課長 吉岡様、岡山県美作県民局第二班総括副



総会の様子



乳質表彰者
(左から三上さん・上森さん・坂本さん)

参事 馬場様、おかやま酪農業協同組合代表理事組合長 檜尾様からご祝辞をいただきました。

議事においては第1号議案から第5号議案まで満場一致で承認されました。

総会終了後は、来賓の方々と懇親会を開催し、大いに盛り上がりました。

最後になりましたが、ご多忙の中ご出席いただきました来賓、組合員の皆様に厚くお礼申し上げます。

◎びほく地区良質乳表彰

- ・最優秀賞 上森 亨さん
- ・優秀賞 三上 隆久さん
- ・努力賞 坂本登志男さん

(びほく事務所)

オハヨー乳業スタンプリー

8月1日、おかやまコープ主催の「オハヨー乳業スタンプリー」がオハヨー乳業(株)本社工場において開催されました。備新青年部・備前地区女性部が協力し、一般消費者120名の方に牛乳の生産・製造・販売の工程を経験してもらい、牛乳が食卓に届くまでを体験してもらいました。



備新青年部より挨拶の様子

いました。

生産ブースでは、備新青年部員に牛柄Tシャツ姿で消費者へ向けて、日々の仕事内容や酪農の魅力を語っていただき、模擬牛を使つての搾乳体験や牛の体の仕組み、実際の飼料などを見てもらいました。製造ブースでは、工場内の製造ラインを見学後、風味検査として3種類の牛乳(低脂肪乳・成分無調整乳・加工乳)の飲み比べをしてもらい、販売ブースでは、工場敷地内に設置された商品陳列棚に出来上がった商品を陳列する体験をした後、備前地区女性部員による手作りの「牛乳もち」「ラッシー」が振舞われ、消費者からは「美味しい」と大好評でした。

猛暑の中ですが、多くの親子連れが参加され、模擬牛で搾乳をして、上手く搾れて喜ぶ人、風味検査で牛乳の種類を当てた人・当てられなかった人、陳列体験を一生懸命にやっていた人など、皆さんそれぞれ楽しまれ、消費拡大のPRになったのではないかと思います。

暑い中、ご参加いただいた消費者の方々、ご協力いただいた備新青年部・備前地区女性部の皆さん、本日にありがとうございました。

(西大寺事務所)

ひろば

失敗は成長のもと？

生産支援課 高見 奈々

東京のサラリーマン家庭で生まれ育った私は、動物が好きで畜産系の大学に進学したものの、勉強もせず毎日部活動に明け暮れていました。ところが、卒業まであと半年という頃になって、突然「牧場に就職する！」と言い出し、周りの大人を困惑させました。「このまま牧場に就職しても恥をかくだけ」と呆れ気味の先生に泣きつき、搾乳、除角、去勢、機械や道具の使い方などを大急ぎで教えていただきました。しかし、不勉強すぎて頭を抱えなくなる出来事が続出。初めての直検では「下の方を触りながら奥に進んでいくと二つに分かれているところがあるだろう？それが子宮だよ」と言われ、「どこまで行っても一本道ですが…」と答える始末。腸壁越しに子宮を触るというのを理解しておらず、手を入れているところ（直腸）が枝分かれすると思いつ込んでいたのです。恐ろしい。半年後、先生方の苦笑いととも卒業し、諸々の資格を取得した

後に就職した牧場では、私と入れ違いで牧場長が辞職し、残ったのは私とアルバイト一人だけ。人手不足から育成牛を減らすことにしたものの、一体どの子売ればいいのか。馬喰さん（家畜取引業者）に「適当に持つて行つて」とお任せしたところ、「高く売れるから」と未經産を「上から順番に」5頭連れていかれました。失敗に気づいたのは夏の暑熱で搾乳牛が立て続けに廃用になってから。「搾乳牛が増えるの、何カ月後よ？」と、スカスカになった牛舎で途方に暮れたものです。本当に恐ろしい。

あれから知識・経験の浅さゆえの失敗を成長の糧としてやってきました。近頃は「思い出せない」「覚えていられない」といった年齢からくる失敗に頭を抱えるようになりまし。スタンフォード大学の研究によると、44歳と60歳で急激に老化が進行するのだとか。すでに一度目の急速老化を終えた今、成長につながる失敗とはどう付き合っていけばいいのでしょうか……。

令和8年8月分乳代精算日を9月24日としておりましたが、9月18日に変更いたします。

お知らせ

お礼

このたび、真庭市 大江健太郎様より香典返礼金として、（一財）おからく教育振興会にご寄付いただきました。事業主旨に従い、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

理事会報告

令和8年6月30日、第315回理事會を理事9名、監事3名が出席し、開催した。

檜尾組合長より酪農一般情勢等について報告された。

その後、次の事項を協議し、決定した。

○令和8年度生乳需給安定化対策について

令和8年度5月の生乳需給安定化対策の進捗状況等について報告した。

○定例監事監査の結果に対する回答について

令和7年度決算に係る監事監査報告に対する回答を監事に報告した。

○職員の定期昇給及び夏季手当について

令和8年度職員の定期昇給及び夏

季手当の支給を決定した。

○職員給与規定の一部変更について
給与規定が実際の業務内容と異なるため、規程の一部変更について内容を確認し、承認した。

○生乳乳質改善規程の一部変更について
生乳を出荷する食品生産事業者としての責務を強化するため、規程の一部変更について内容を確認し、承認した。

○乳質改善褒章要領の一部改正について
乳質改善褒章要領の褒章対象者について内容を協議し、要領の一部変更について内容を確認し、承認した。

○きび酪農運輸倉庫管理委託費の継続について
きび酪農運輸の要請について協議し、経営継続対策を継続することを決定した。

○報告事項
定例監事監査の日程について、岡山県畜産共進会について報告した。

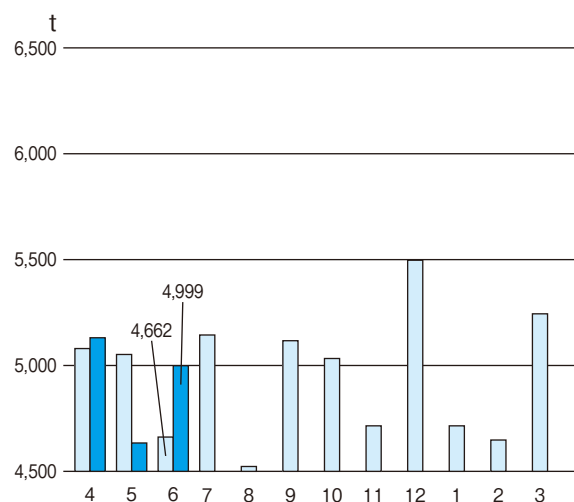
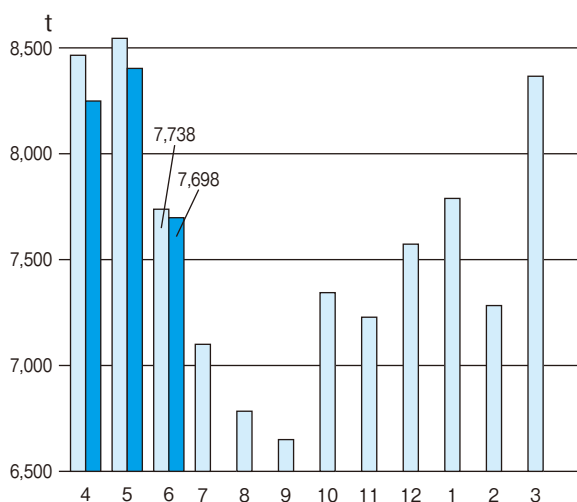
おからく事業実績

■ 生乳販売量(令和8年度)

■ 生乳販売量(令和7年度)

■ 購買取扱数量(令和8年度)

■ 購買取扱数量(令和7年度)



生乳統計

※中央酪農会議速報より抜粋

地域	月	受託乳量(トン)	用途別処理量(トン)			前年比(%)			
			飲用乳等向け	乳製品等向け	その他	受託	飲用	乳製品	その他
全国	6	574415	283584	148904	141927	98.5	98.5	97.4	99.6
	4～6	1768115	827121	501011	439984	98.4	98.2	97.2	100.2
岡山県	6	7698	7321	237	140	99.5	99.4	82.9	160.9
	4～6	24350	21905	1842	603	98.4	98.1	90.1	162.5
北海道	6	334569	65622	131460	137487	98.0	99.8	95.8	99.4



主な行事

8月

6日 定例監事監査(～7日)

20日 業務委員会

24日 管理職会議

31日 理事会

9月

18日 管理職会議

25日 牛乳・乳製品

料理コンクール書類審査

蒜山地区乳牛共進会

30日 理事会

謹んで令和8年熊本地震のお見舞い申し上げます

被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

1日も早く復旧されますことを心からお祈り申し上げます。

北海道初妊牛価格

7月については、出回り頭数が小幅な増加に留まるなか、本格的な暑熱期となり需要に懸念はあったものの、一定の引き合いは見られたことで、63万1千円(前月比1万1千円高・前年比5万2千円高)と保ち合いで推移しました。

8月については、出回り頭数の増加が見込まれるなか、秋分晩中心の取引となり、暑熱事故等の代替など一定の更新需要が見込まれるものの、猛暑が長引く懸念もあり、初妊牛相場は、現状水準程度での価格展開が予測されます。